

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	ひとり一人の尊重とプライバシーの確保について、できている時とできていない時があり、またスタッフによっても違いがある。	プライバシーの確保に配慮したケアを全スタッフができる。	プライバシーの確保について定期的に研修を開催していく。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援。契約時に口頭にて説明している。	ご家族と定期的に話し合いを持ち、終末期に向けた準備をしていく。(文書に残していく)	個別記録に記載する。ケアプランの説明、交付の際に書面にて残せるように文書を準備する。	2ヶ月
3	35	災害対策において地域との協力体制が築けていない。	地域との協力体制ができる。	地域が開催する防災訓練に参加し、体制作りを進めていく。	6ヶ月
4	6	身体拘束をしないケアの実践…ユニットの入り口に施錠をしている。	ユニット入り口の施錠の開放	センサー等を使用して時間帯を決めて開放していく。	3ヶ月
5	5	市町村との連携…まだ積極的な協力関係が築けていない。	市町村との協力関係、連携がとれる。	認知症サポーターの養成や地域包括の地区会議に参加し協力関係を作っていく。	6ヶ月
6	1	理念の共有と実践…法人の理念の実践に努めている。	事業所独自の理念を作り、実践していく。	法人の理念の実践ができた段階でユニットごとの理念の作成をスタッフで話し合い作っていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。